

(様式第2) 社会資本総合整備計画 (活力創出基盤整備) 中間評価書 (平成26年度末)

計画の名称	幹線道路網の整備による、中心市街地へのアクセス向上と活発な交流が生まれるまちづくり																												
計画の期間	平成24年度～平成28年度(5年間)					交付対象	一宮市																						
計画の目標	一宮市は、平成17年4月に旧一宮市・旧尾西市・旧木曾川町が合併し、新一宮市となった。その新市建設計画の中で最重要課題として、「都市基盤の整備」を掲げ幹線道路網の整備を進め、活発な交流が生まれる魅力あるまちづくりを目指し、人・モノ・情報が集まり交流するまちづくりを目標と定めた。その計画の中でも特に、新一宮尾西線と木曾川玉野線は、旧尾西市と旧一宮市の中心市街地を結ぶ重要路線であり、アクセス性の向上が両地区の発展のためには不可欠である。合併から6年が経過し、ますます増加してきている交通需要に対応するためにも、この2路線の整備の必要性は高まってきている。このことから、この2路線を早期に整備完了させ、活発な交流が生まれるまちづくりを目指すものである。																												
計画の成果目標 (定量的指標)																													
① 事業実施箇所から中心市街地 (一宮駅) へのアクセス時間の短縮 ② 駅周辺がにぎわっていると思う人の割合																													
定量的指標の定義及び算定式																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H24当初)</th> <th>中間目標値 (H26末)</th> <th>最終目標値 (H28末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① (事業実施箇所における事業実施後のアクセス時間) / (事業実施前のアクセス時間) × 100 アクセス時間: 事業箇所から中心市街地 (一宮駅) への自動車の実移動時間</td> <td>100 %</td> <td>95 %</td> <td>90 %</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② (市民アンケート調査で「一宮駅周辺がにぎわっていると思う」と答えた人の数) / (アンケート回答総数) × 100 市民アンケート調査: 市内在住3,000人対象 (等間隔抽出法により抽出)、毎年実施</td> <td>10.4 %</td> <td>24.0 %</td> <td>27.4 %</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)	① (事業実施箇所における事業実施後のアクセス時間) / (事業実施前のアクセス時間) × 100 アクセス時間: 事業箇所から中心市街地 (一宮駅) への自動車の実移動時間	100 %	95 %	90 %		② (市民アンケート調査で「一宮駅周辺がにぎわっていると思う」と答えた人の数) / (アンケート回答総数) × 100 市民アンケート調査: 市内在住3,000人対象 (等間隔抽出法により抽出)、毎年実施	10.4 %	24.0 %	27.4 %	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																									
	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)																										
① (事業実施箇所における事業実施後のアクセス時間) / (事業実施前のアクセス時間) × 100 アクセス時間: 事業箇所から中心市街地 (一宮駅) への自動車の実移動時間	100 %	95 %	90 %																										
② (市民アンケート調査で「一宮駅周辺がにぎわっていると思う」と答えた人の数) / (アンケート回答総数) × 100 市民アンケート調査: 市内在住3,000人対象 (等間隔抽出法により抽出)、毎年実施	10.4 %	24.0 %	27.4 %																										
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,573 百万円	A	2,573 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.0%																		

中間評価

○中間評価の実施体制、実施時期											
中間評価の実施体制						中間評価の実施時期					
一宮市建設部道路課						平成27年度					
						公表の方法					
						一宮市ホームページにて公表					

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H24	H25	H26	H27	H28		
-A1	街路	一般	一宮市	直接	-	市町村道	改築	(都)新一宮尾西線	L=850m、W=16.0~19.0m	一宮市						1,823	
-A2	街路	一般	一宮市	直接	-	市町村道	改築	(都)木曾川玉野線	L=610m、W=16.0~19.0m	一宮市						750	
											合計	2,573					
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業主体	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H24	H25	H26	H27	H28			
											合計	0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業主体	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H24	H25	H26	H27	H28			
											合計	0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		幹線道路整備により、中心市街地へのアクセスが向上し、一宮駅周辺が活性化された。				
II 定量的指標の達成状況	指標①（アクセス時間）	中間目標値	95%	目標値と実績値 に差が出た要因		
		中間実績値	95%			
	指標①（市民アンケート調査）	中間目標値	24.0%	目標値と実績値 に差が出た要因		順次供用開始したことにより、中心市街地間のアクセス性が向上し、目標値を上回る結果が得られた。
		中間実績値	28.1%			
III 定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）						

3. 特記事項（今後の方針等）
引き続き年次計画に基づき幹線道路整備の促進を図る。

(様式第3) (参考図面) 活力創出基盤整備

計画の名称	幹線道路網の整備による、中心市街地へのアクセス向上と活発な交流が生まれるまちづくり		
計画の期間	平成24年度 ~ 平成28年度 (5年間)	交付対象	一宮市

